

## CCかわさき交流コーナー 2月の展示&ミニ講座のご案内

2月は「川崎の緑の活動」をテーマに、川崎市の緑地保全、緑化の推進をはじめとする緑政施策、市内の緑の活動団体の紹介、地域でのボランティア活動報告などについてご紹介します。

また、展示に合わせたミニ講座も開催します。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

### 【2月のミニ講座】

- 日 時：平成25年2月13日(水) 13:30~15:00
- 場所：CCかわさき交流コーナー（高津市民館内）
- 参加費：無料(要事前申込) 定員：20名(先着順)
- 第1部テーマ：「川崎の緑と生物多様性」 講師：木村 博彦氏(川崎市環境局環境調整課)
- 第2部テーマ：「冬芽の不思議」 講師：北川 淑子氏(横浜市環境アドバイザー、ナチュラリスト)

問い合わせ：川崎市地球温暖化防止活動推進センター（CCかわさき交流コーナー）  
TEL 813-1313 FAX 813-1350

## 緑化センター展示会のご案内

緑化センターでは、福寿草や梅の花が咲き、温室内ではプリムラやパンジーなどの春の草花のほか、シンピジウムやファレノプシスなどの豪華なランの花も満開です。

大鉢づくりのクリスマスローズの原種を主体に約20品種を展示いたします。



- 開催日時：展示会「クリスマスローズ展」  
平成25年2月16日(土)~3月3日(日)  
9:00~16:00 無料  
期間中はご自由にご覧ください

問い合わせ：川崎市緑化センター TEL 044-911-2177  
〒214-0021 川崎市多摩区宿原6-14-1

## コラム 「ごみ収集の歴史」 Vol.3 昭和50年代~60年代

昭和中期から高度経済成長期に突入り、大量消費、大量廃棄の時代となっていきます。昭和50年代に入ると、ごみの減量と資源化を進めるため、順次、空き缶や使用済み乾電池の分別収集を開始するなど、川崎市においても「公衆衛生の向上・生活環境の保全」を重視した全量焼却から資源化に向けた取組へと変わっていきます。

また、昭和60年には、ごみ収集車のオルゴール曲を「乙女の祈り」から川崎市民の歌「好きですかわさき愛の街」に変更し、清掃業務が市民にとって、より親しみやすく身近な存在となりました。



【当時の空き缶・乾電池収集に関するチラシ】

問い合わせ：環境局減量推進課 TEL 200-2580 FAX 200-3923

公害病被認定者数 1,531人  
(認定者総数 6,030人-認定失効者数 4,499人)  
認定失効者数 4,499人  
(治癒等 2,049人+死亡者数 2,450人)  
平成24年12月末現在(健康福祉局)

発行編集  
川崎市環境局総務部環境調整課  
電話 044 (200) 2387 (直通)  
E-mail 30kantyo@city.kawasaki.jp

